

### ① コールドチェーン物流の促進について

- ・ 国土交通省より、ASEAN におけるコールドチェーン物流の促進に関する最近の取組みとして、タイ及びインドネシアとの間で実施した二国間の物流政策対話や両国運輸省との共催で実施したコールドチェーン物流ワークショップ及び両国において実施した実証輸送の結果等について紹介した。また、コールドチェーン物流分野における国際標準化について、国際標準化機構 (ISO) の技術委員会 (TC315) における取組みについても紹介し、各国へ当委員会への参加を働きかけた。
- ・ ASEAN 各国より、コールドチェーン物流に関する取組みやコールドチェーン物流サービスに関する国家規格化等に向けた進捗状況や計画等について説明があった。主な発表は以下のとおり。

ブルネイ	2020 年に政府全体で物流改善を議論するため設置されたタスクフォースにおいて、日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドラインをベースとした国家規格化に向けた議論を引き続き推進していく。
カンボジア	日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドラインをベースとした国家規格化や認証体制の整備等について記載したアクションプランを 2022 年に策定し、同アクションプランに基づく取組みとして、2023 年にワークショップの開催を検討している。
マレーシア	2025 年までに日 ASEAN コールドチェーン物流ガイドラインをベースとした BtoB 分野におけるコールドチェーン物流サービスに関する国家規格の策定に向けて、TC315 の議論へ積極的に参加していく。
フィリピン	国家規格策定の役割を担う貿易産業省傘下の製品標準局 (BPS) 等と連携し、TC315 への参画を検討する。

### ② 物流人材育成について

- ・ 国土交通省より、SGH財団の協力のもと、ラオス及びベトナムにおける大学生及び行政官等を対象に実施した物流分野の人材育成事業等について報告するとともに、マレーシアへの拡大について提案し、来年度の実施に向けて協議していくことでマレーシアと合意した。

### ③ グリーン物流の促進について

- ・ 株式会社日立物流より、日本国内におけるリバースロジスティクス (静脈物流) に関する事業等についての事例紹介を行った。
- ・ フィリピン及びシンガポールより、自国におけるリバースロジスティクスに関する取組みについて報告があった。
- ・ グリーン物流パートナーシップ会議について、2022 年 11 月にカンボジアにおいて開催された本会議についての報告があったほか、インドネシアが 2023 年、マレーシアが 2024 年、ベトナムが 2025 年にそれぞれ開催国となり、同会議の開催を検討しているとの報告があった。

### ④ その他 (北東アジア物流情報サービスネットワーク及びアジアにおけるパレットの標準化について)

- ・ 国土交通省より、北東アジア物流情報サービスネットワーク (NEAL-NET) の概要や今後の展望について紹介を行うとともに、アジアにおけるパレットの標準化を進めていくことの重要性や今後の取組み等について説明を行った。